

## 注意

共済組合・各健診機関からのお願い

人間ドックの無断キャンセルは絶対にお止めください。

また、必ず受診日を確認の上、受診してください。

やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず前もって健診機関へ直接連絡してください。また、受診日以外の日に誤って健診機関へ行くことの無いよう、必ず受診日を確認の上、受診してください。

一部の受診決定者によるこのような行為のために、今後、人間ドック契約健診機関での受診ができなくなる場合があります。

## 重要①

脳検査付き人間ドックに申込みされる方へ

令和6年4月1日時点で40歳以上（昭和59年4月1日生まれ以前の者）かつ過去3年間（令和3年度から令和5年度までの間）に脳検査付き人間ドックの受診決定した方以外が申込可能です。

上記対象者以外が申し込まれた場合は、同一健診機関の1日人間ドックの申込者として振り替えます。

脳検査付1日人間ドックの脳検査とは、脳血管の異常（脳梗塞等）に関する検査です。脳機能（認知症等）とは直接関係ありません。

～MRI・MRA検査を受けられない者～

次の11項目に1つでも当てはまる方は、医師の判断等により検査を受けられない可能性があるため、注意してください。

- ①心臓ペースメーカー、人工内耳、人工義眼、義手足、人工弁、埋め込み型心電装置、人工のポンプ類などを装着している者
- ②撮影時間中、仰臥位（上を向いて寝た状態）で安静にしていられない者
- ③閉所恐怖症の者
- ④暗所恐怖症の者
- ⑤妊娠中又は妊娠の可能性のある者
- ⑥脳の手術を受けた者（脳室腹腔シャント手術など）
- ⑦磁石式の入れ歯を装着している者
- ⑧体内に金属が入っている者（インプラントなど）
- ⑨カラーコンタクトレンズを装着している者（必ず外してください）
- ⑩人工関節手術、心臓ステント、止血クリップ、脳動脈クリッピング術を受けた者
- ⑪今までに医師から「不整脈」「てんかん」と言われたことがある者（一部の健診機関）

～MRI画像が鮮明に写らない可能性がある場合～

- ・強磁性体を使用した金属が口腔内に存在する者
- ・脳動脈瘤クリップ、脳血管内コイルを使用している者
- ・歯の治療後（特に金歯）・矯正義歯の者

## 重要②

1泊2日人間ドックに申込みされる方へ

1泊2日人間ドックと1日人間ドックとの違いは、原則、糖尿病に関する検査（ブドウ糖負荷検査）のみで、胃検診と同日にはできないため翌日行います。そのため、糖尿病で治療中の方は受けられません。

## お願い

人間ドック当日に特定保健指導の対象となった方へ

40歳以上の受診者のうち、人間ドック当日に特定保健指導の対象となった場合は、特定保健指導の実施を安易に断らず、初回面接を受けてください。当日受けられない場合は、後日、学校訪問型特定保健指導の通知文書が所属所を経由して届きます。原則、いずれかの特定保健指導を受けていただきますので、御承知おきください。